

磐城時報

第六夕
編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
社址 磐城郡平町三丁目十四番地
電話 二一四
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一文字一日五銭 五日十銭 十日二十銭 一月四十銭 三月六十銭 半年八十銭 一年一百二十銭
日刊(日曜、祭日、休日) 休刊

赤井役場の公文書偽造 平署活動を開始

請負業者の偽証明書で 若松、根本両氏召喚

石城郡赤井村大字高萩字下代土木請負業者高木綱治は昭和二年四月七日國稅を一圓二十銭だけ納付したが、本縣土木請負の規定により國稅三十圓以上を納付せぬ者は五千圓以上の請負ひが出来る事になつてゐるため當時若松美三氏が村長時代に役場から松美三氏が村長時代に役場から三十圓四十圓の國稅を納めたものゝ如き証明書の交付をうけ更にその後國稅が二十圓になつた時根本忠松村長當時三十圓以上の証明書の交付をうけて五千圓以上の仕事を請負つてゐた事發覺し平署では先づ若松、根本兩前村長を呼び出し取調べを開始した。

産業組合大會 出席千二百名

第二十一回縣下産業組合大會は十七日午前十一時から平町第三小學校に開き優良組合並に功勞者を表彰する筈であるが、當日の參會者は六日まで一千二百余名の多數に達し各種組合のうちで最も盛會を極めるであらうと察せられてゐる。

築港促進の 町民大會

石城郡赤井村出身騎兵第二聯隊定した。長騎兵中佐若松晴司氏は満洲事變勃發以來満洲に於て奮闘してゐたが、去る三日満洲方正西方タイザ一附近で反吉林軍討伐中左上膊部に銃創を負ふたが元氣頗る旺盛で部下の指揮を行つてゐる。

水道工事完成近し 早くも落成式の準備

平町上水道擴張工事は其後大部盛大なる竣工祝賀式を舉行する分の完成を見、好間村上ノ原地手管で目下當局に於てはそれぞれ内排水場表裏門及び八幡小路地内配水池の一部並に高架水槽を會を招集して之が具体的方法にシテローメーター室の築造を就いて協議する事になつた。

町村議々員會

石城村では四月十日平町に開かる、平町三丁目東料理店第一新橋屋本縣西白河郡川崎村大字野瀬瀨生を拂つてゐるので早晩これが昭瀨平長男昇平

公會堂建設 委員會開催

平町公會堂建設委員會は六日午後一時から平町役場に開き諸般の打合せをなした。

石城産馬副組長

石城産馬育産組合では缺員中の第一副組長選挙を行つた結果樋口幸右衛門氏當選し縣に上申中四日付で認可され就任した。

石城忠魂祭

町村長支會長伏見彦衛氏並に在郷軍人石城聯合分會長山崎清三の二氏司會者となり十日午前九時から平町松ヶ岡公園において郡出身戦死病死者の忠魂祭を舉行する。

豊岡局長交迭

石城郡駐在農林技師橋本市二氏の後任として米山耕平技師六日着任した。

米山技師着任

石城郡夏井村大字藤間坂本又吉、藤井郡油島村生れ菅原幸太郎(四五)は昨年三月當村石城郡内四一の兩名は五日午後二時四十分村大字宮の實弟渡邊重太郎方會署を訪れて歸國旅費の支給方に至り夏井村山名儀平(四一)にを頼み出た。

赤井出身の若松中佐 満洲で負傷す

石城郡赤井村出身騎兵第二聯隊定した。長騎兵中佐若松晴司氏は満洲事變勃發以來満洲に於て奮闘してゐたが、去る三日満洲方正西方タイザ一附近で反吉林軍討伐中左上膊部に銃創を負ふたが元氣頗る旺盛で部下の指揮を行つてゐる。

清風幼稚園

平町十丁目の幼稚園では六日午前九時から可愛らしい園児三十名の入園式を舉行する。

小名濱 商港問題陳情

小名濱商港問題に關し關係者は五日午前内務省松野政務次官、藤井參事官、湯澤土木局長松村港灣課長、大藏省に堀切政務次官等を訪れ

他人の印鑑を偽造し 千圓を捲き上ぐ

石城郡夏井村大字藤間坂本又吉、藤井郡油島村生れ菅原幸太郎(四五)は昨年三月當村石城郡内四一の兩名は五日午後二時四十分村大字宮の實弟渡邊重太郎方會署を訪れて歸國旅費の支給方に至り夏井村山名儀平(四一)にを頼み出た。

林野組合獎勵金

石城郡林野保護組合聯合會へ縣から六年度事業優良の慶で六日獎勵金二十五圓を下附された。

少年職業 紹介状況

平職業紹介所では平町各町村連絡學校の本年卒業の少年少女の求職申込は總數百四十七名に達し同所並に各小學校當局では父兄會を開き就職事情の打合せをなし各地方に就職斡旋に努めてゐるが僅に三十余名の就職が決つたのみで、電工、機械の技術方面の求人求職は兩者間が一致せず極度に苦心してゐる状態を目下四家紹介主任は上京中央紹介事務局その他各方面に聯絡紹介を拂つてゐるので早晩これが昭瀨平長男昇平

小名濱 商港問題陳情

小名濱商港問題に關し關係者は五日午前内務省松野政務次官、藤井參事官、湯澤土木局長松村港灣課長、大藏省に堀切政務次官等を訪れ

空巢ねらひ 懲役一年

常磐線湯本、綴間間の傾城、堀坂兩トンネル間は過般岩石崩壊し線路を大破して一時交通不能に陥りたる箇所が常磐線第一の危険箇所であるが、四日に至り又も同所の断面に大龜裂を生じ何時大岩石が崩壊するかわかりなげなる状態になつてゐるのを發見した。之が爲列車は徐行して豫防に注意してゐるが地下一帯は磐城炭礦で採炭の結果ほとんどカゴの如き有様になつてゐる爲斯の如き大龜裂を生ずるに至つた如く、鐵道省では同炭礦に交渉して之が修理を迫る方針で直ちに伊藤平保線區主任が調査に着手した。

傾城トンネル 保線區で調査

常磐線湯本、綴間間の傾城、堀坂兩トンネル間は過般岩石崩壊し線路を大破して一時交通不能に陥りたる箇所が常磐線第一の危険箇所であるが、四日に至り又も同所の断面に大龜裂を生じ何時大岩石が崩壊するかわかりなげなる状態になつてゐるのを發見した。之が爲列車は徐行して豫防に注意してゐるが地下一帯は磐城炭礦で採炭の結果ほとんどカゴの如き有様になつてゐる爲斯の如き大龜裂を生ずるに至つた如く、鐵道省では同炭礦に交渉して之が修理を迫る方針で直ちに伊藤平保線區主任が調査に着手した。

美人の腰巻を 盗む老爺

石城郡三坂村大字下三坂字坂下佐藤吉松(五九)は有名な變態性慾者で婦女子の後を追ひ廻すので平署で檢擧した處内郷村大字宮佐藤ハナといふ美人の木綿及び唐縮細腰巻を六枚窃取し大事に所持してゐた事が判つた。

平町人事

出生 久保町三七湯本町茶田渡邊勝長男博、堀越小路長瀬平長男昇平

木材満載の自動車 溝の中に墜落

上遠野村大字上遠野鈴木自動車部運轉手入遠野村大字前田小玉己末(二六)が木材を満載した貨車を溝の中に轉落し車体を大破したが、運轉手は擦過傷を負ふたのみであつた。

歸國旅費嘆願

本籍を昭瀨平長男昇平

菅波氏夫人逝く

四倉町助役菅波千之助氏夫人せま子女史は病氣中の處五日午後七時死亡した、葬儀は七日午後一時自宅出棺海蔵寺に於て行ふ

電話番號變更
此度電話番號を左の如く變更致しましたから御諒承下さい。
電話三七七番 平驛前
電話三七七番 阿部石炭店店用
電話二二七番 阿部政右衛門 宅用

學生靴...特賣
安い...大塚の靴
關稅引上げの爲め靴原料意外に暴騰なれど弊店にては前值品多數用意いたし當分値上げ致しませんが
絶好の御買の時...は今
平田町 大塚支店製靴部 電話七七番

皆三二御願
自動車ハ最新ノ三二型！
車体番號ハ福島三二番！電話ハ三二番へ
今度皆々様の御愛顧と御後援を仰ぎタクシー部を設けました。何を申すも處女營業のごとて地方皆様の御愛好を得て進みたく従業員はヘビーを遊してサービスあるのみです。車は御氣に召す様にと
三二年初春のトップを切つた最新型を整へましたから是非御召下さい。
一九三二年に因み三二番の電話を用ひますから御利用下さい
平町白銀町 加藤丈夫營業所
不二タクシー
主任 菅本昇

平看護婦會
會長 清野キヨ
平町字南町 電話三〇七番
看護婦派出の需めに應じます

外科 専門 X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
病室完備 入院應需

腸胃 専門 內科
十二指 腸胃病
婦人病 皮膚病
夜 皮膚病 専門
松村村松 腸胃病 胃性 腸胃病
院醫科 (七〇一話電) 町南町平

佛國マルソー會社元話
生葡萄酒
マルソー・フランク・白 1.10
マルソー・ルージュ 赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

株式**百澤商店** 第六期決算報告

借方	貸方
資本金	資本金
準備金	準備金
積立金	積立金
未払金	未払金
未受金	未受金
前払金	前払金
前借金	前借金
長期債	長期債
短期債	短期債
現金	現金
合計	合計

四倉支局 開設滿十週年記念號
四倉町長 新妻盛
四倉町役場 菅波千之助

坂本漁業事務所
四倉町新町海岸通り

四倉漁業組合事務所
四倉新町

菊地正一
四倉小學校長

醫師齒科醫組合
常磐銀行四倉出張所

松本健
東部電力株式會社

四倉營業所
電話六番

菅波末吉
四倉町漁業家

中野捨與
四倉信用組合 理事事務

武田バー
和洋料理は本町 御料理は本町 電話三二番

鱗屋合名會社
味噌・醤油醸造元 四倉新町 電話一〇八

一心
特一品料理 四倉仲町 電話七四

博善社
美術造花 葬儀用具 四倉町本町

鯨岡恒
署長 四倉警察署

金成岩吉
組頭 四倉消防組

丸はん家具店
本三丁目 電話三五九番

坂本文治
建築業 四倉町仲町

荒川藥舖
特約販賣店 本町 電話二二〇番

深谷藥舖
ドリックノ特約販賣店 四倉町新町 電話二八番

四倉支店
吉田油槽所

花月
西洋料理は平町三丁目裏通り 御料理は平町三丁目裏通り 電話一七七番